

医療用医薬品最新品質情報集（ブルーブック）

2020. 12. 24 初版

有効成分	ヒドロキシジンパモ酸塩	
品目名（製造販売業者） 【後発医薬品】	1	ヒドロキシジンパモ酸塩錠 25mg 「日新」 日新製薬（山形）
品目名（製造販売業者） 【先発医薬品】	①	なし
効能・効果	http://www.bbdb.jp	
用法・用量	http://www.bbdb.jp	
添加物	http://www.bbdb.jp	
解離定数 ¹⁾	測定していない	
溶解度 ¹⁾ (37℃)	(塩酸ヒドロキシジンとして) pH1.2 : 0.53 mg/mL pH4.0 : 0.014mg/mL pH6.8 : 0.035mg/mL 水 : 0.016mg/mL	
原薬の安定性 ¹⁾	水	なし
	液性(pH)	pH1.2 溶液ではパモ酸が沈殿する。
	光	なし
	その他	なし
膜透過性	なし	
BCS・Biowaiver option	なし	
薬効分類	117 精神神経用剤	
規格単位	25mg 1錠	

【記載データ一覧】

	品目名	製造販売業者	BE	品質 再評価	溶出	検査
1	ヒドロキシジンパモ酸塩錠 25mg 「日新」	日新製薬（山形）	○+	○*		

注)「BE」は、生物学的同等性 (BE) 試験結果を示し、○印がついているものは本情報集にデータを掲載している。○印の右に+印がついているものは動物試験のデータである。【3 ページ】

注)「品質再評価」の項目に○印がついているものは、品質再評価結果通知²⁾が発出されている品目である。空欄となっているものは、品質再評価指定以降に承認された品目等である。なお、参考として、品質再評価の際の先発医薬品の溶出曲線測定例を本情報集に掲載している。【4 ページ】

注)「溶出」は、ジェネリック医薬品品質情報検討会での溶出試験結果を示し、上記表中に番号の記載があるものは、試験を実施した品目である（上記表中の番号は、本情報集に掲載された溶出試験結果中の番号と対応している。）。全品目で空欄となっている場合は、溶出試験未実施である。一部が空欄となっている場合は、当該試験実施以降に承認された品目等である。【5 ページ】

注)「検査」は、後発医薬品品質確保対策事業検査結果を示し、上記表中に○印がついているものは検査を実施した品目である。全品目で空欄となっている場合は、検査未実施である。一部が空欄となっている場合は、当該検査実施以降に承認された品目等である。【6 ページ】

*：旧販売名で記載

【生物学的同等性 (BE) 試験結果】

1 <参考>

ヒドロキシジンパモ酸塩錠 25mg「日新」と標準製剤を、クロスオーバー法によりヒドロキシジンパモ酸塩錠 25mg「日新」は1錠、標準製剤は1カプセル（ヒドロキシジンパモ酸塩 42.61mg（ヒドロキシジン塩酸塩として 25mg））を日本白色種雄性雑系家兎 14羽に絶食後単回経口投与して、各ポイントで採血後、血中ヒドロキシジンパモ酸塩濃度を測定し、統計解析を行った結果、両製剤の血中濃度推移に有意差は認められなかった。

（インタビューフォームより）

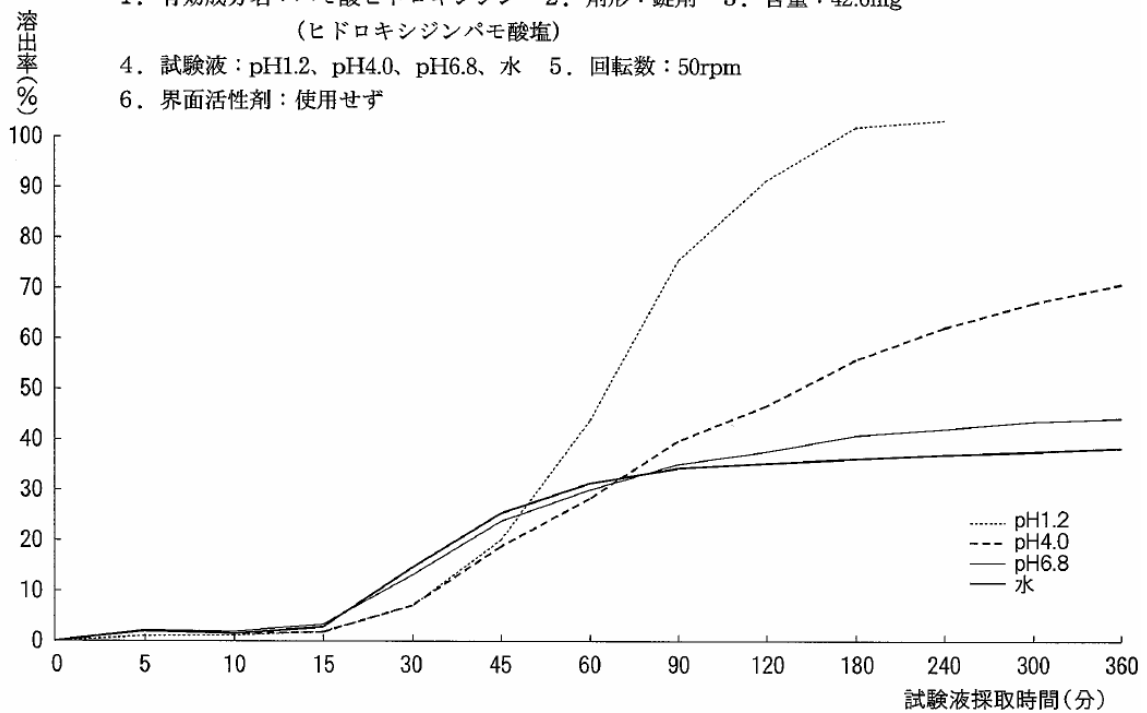
【品質再評価（医療用医薬品品質情報（オレンジブック））】¹⁾

※ヒドロキシジンパモ酸塩錠25mg「日新」の溶出曲線測定例を示す。

溶出曲線測定例

パモ酸ヒドロキシジン25mg錠

1. 有効成分名：パモ酸ヒドロキシジン 2. 剤形：錠剤 3. 含量：42.6mg
(ヒドロキシジンパモ酸塩)
4. 試験液：pH1.2、pH4.0、pH6.8、水 5. 回転数：50rpm
6. 界面活性剤：使用せず



【溶出試験結果（ジェネリック医薬品品質情報検討会）】

なし

【後発医薬品品質確保対策事業検査結果】

なし

ヒドロキシジンパモ酸塩錠
Hydroxyzine Pamoate Tablets

溶出性 〈6.10〉 本品1個をとり、試験液に溶出試験第1液900mLを用い、パドル法により、毎分50回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液20mL以上をとり、孔径0.45μm以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液10mLを除き、次のろ液1mLを正確に量り、表示量に従い1mL中にヒドロキシジン塩酸塩(C₂₁H₂₇ClN₂O₂·2HCl)約28μgを含む液となるように溶出試験第1液を加えて正確にV' mLとし、試料溶液とする。別にヒドロキシジン塩酸塩標準品を105℃で2時間乾燥し、その約28mgを精密に量り、溶出試験第1液に溶かし、正確に100mLとする。この液5mLを正確に量り、溶出試験第1液を加えて正確に50mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液20μLずつを正確にとり、次の条件で液体クロマトグラフィー〈2.07〉により試験を行い、それぞれの液のヒドロキシジンのピーク面積A₁及びA₂を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

ヒドロキシジン塩酸塩(C₂₁H₂₇ClN₂O₂·2HCl)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_s \times (A_1/A_2) \times (V' / V) \times (1/C) \times 90$$

W_s: ヒドロキシジン塩酸塩標準品の秤取量(mg)

C: 1錠中のヒドロキシジン塩酸塩(C₂₁H₂₇ClN₂O₂·2HCl)の表示量(mg)

試験条件

検出器: 紫外吸光光度計(測定波長: 232nm)

カラム: 内径4.6mm、長さ15cmのステンレス管に5μmの液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度: 40℃付近の一定温度

移動相: リン酸3mL及び水酸化ナトリウム試液33mLを水900mLに加え、薄めたリン酸(1→10)を加えてpH2.4に調整し、更に水を加えて1000mLとする。この液350mLにメタノール650mLを加える。

流量: ヒドロキシジンの保持時間が約4分になるように調整する。

システム適合性

システムの性能: 標準溶液20μLにつき、上記の条件で操作するとき、ヒドロキシジンのピークの理論段数及びシンメトリー係数は、それぞれ3000段以上、2.0以下である。

システムの再現性: 標準溶液20μLにつき、上記の条件で試験を6回繰り返すとき、ヒドロキシジンのピーク面積の相対標準偏差は1.5%以下である。

溶出規格

表示量*	規定時間	溶出率
25mg	120分	80%以上

*ヒドロキシジン塩酸塩として

【関連情報】

なし

【引用情報】

- 1) 医療用医薬品品質情報集（オレンジブック）（平成 22 年 3 月版、厚生労働省医薬食品局審査管理課）
- 2) 医療用医薬品再評価結果 平成 20 年度（その 2）について（平成 20 年 11 月 17 日付け薬食発第 1117005 号、厚生労働省医薬食品局長）
- 3) 日本薬局方外医薬品規格第三部の一部改正について（平成 20 年 11 月 17 日付け薬食発第 1117001 号、厚生労働省医薬食品局長通知）